
介護福祉事業部



愛生訪問看護ステーション

管理者 七村 裕美子

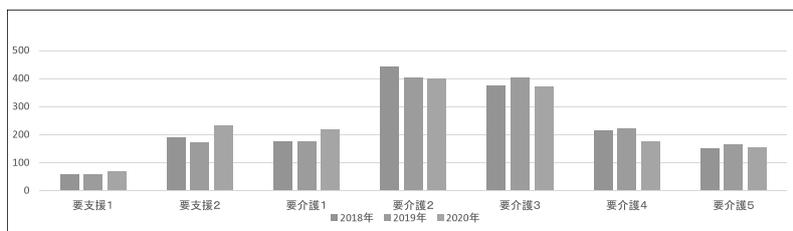
特徴

「超高齢化社会」になるといわれている2025年も目前に迫ってきています。当愛生訪問看護ステーションは、地域包括ケアシステムの「医療・看護」の役割を担い、利用者さまが住み慣れたご自宅で、24時間365日安心して療養生活が送れるよう支援しています。在籍する看護師7名・理学療法士5名・作業療法士2名・言語聴覚士3名が、多職種と連携を図りながら地域に根付いた在宅療養生活をサポートしています。

今後の目標

利用者さまが可能な限り、住み慣れた環境で安心して自分らしい生活が送れるよう、一人でも多く受け入れができる体制づくりを目指します。それに伴い、ICT化による業務の効率化、人材の育成強化と質の向上、働きやすい環境の維持などを重点に全スタッフが一丸となって業務遂行できるよう努めます。また、他職種と協働し在宅医療チームの一員として地域に貢献していきます。

2020年利用者状況



あいせいケアステーション

管理者 船場 良介

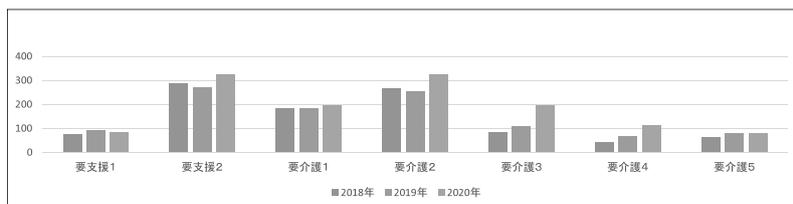
特徴

「住み慣れた自宅で安心して生活したい」と願う利用者さまへ家事援助から身体介護まで幅広くサービスを提供し、自立度の高い在宅生活を支援しています。認定特定行為業務従事者も在籍しており、喀痰吸引や経管栄養の処置も可能です。より介護度の高い方にも対応出来るよう職員の個別研修計画を作成し、日々スキルアップに努めています。

今後の目標

2020年4月に東大曽根町へ移転し1年が経過しました。今後はこれまで以上に地域の皆さまとの交流を通じ、活動の周知を図るとともに、周辺地域のケアマネジャーと連携し、サービス提供地域を広げより多くの皆さまにサービス提供できるよう努めてまいります。

2020年利用者状況



あいせいデイサービスセンター

管理者 中野 正佐仁

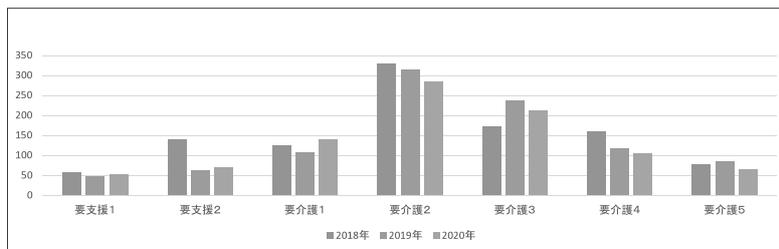
特徴

デイサービスとは日帰りで「食事」「入浴」「機能訓練」のサービスを受けられる場所です。家族のレスパイトケアと、要介護者の社会参加、心身機能の向上に役立ちます。“あいせいデイサービスセンター”では、「機能訓練」に重点を置き、パワーリハビリテーション機器での運動と、機能訓練員からの専門的リハビリやアドバイスが受けられ、屋外歩行訓練も積極的に行っています。比較的男性利用者が多く、自由闊達な雰囲気と熟練のスタッフが魅力です。

今後の目標

機能訓練に重点を置きながらも、ただ訓練する場ではなく季節に応じたレクリエーションや普段のコミュニケーションを通し、楽しみを持ちながら機能向上に向け取り組んで頂ける生活の場として、地域に愛されるデイサービスを目指していきます。スタッフは現場で役立つ介護技術等のスキルアップを目指していきます。感染対策にも力を入れ、スタッフ・利用者さまが安心して利用していただける環境を整えていきます。

2020年利用者状況



愛生居宅介護支援事業所

管理者 中嶋 拓

特徴

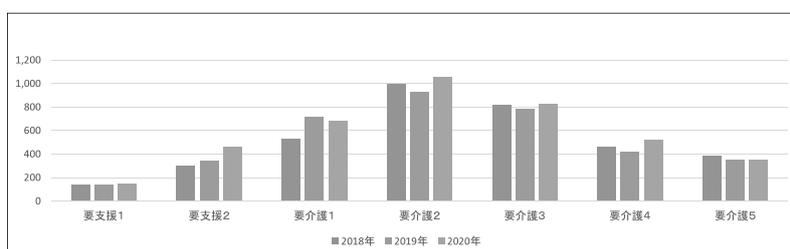
愛生居宅介護支援事業所は特定事業所加算Ⅰを取得し、主に重度者や支援困難ケースの積極的な受入れ、24時間の相談連絡体制の確保、ケアマネジメント技術向上のため個別研修計画・年間研修計画の策定、医療・介護・行政等と連携し、地域に向けた研修等に参画しています。また、いきいき支援センターより、いきいき相談室の受託、そして介護支援専門員実務研修の実習生の受入れ施設として、地域との関わりを積極的に行っています。

今後の目標

重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる地域を目指し、医療と介護、施設と在宅等の多職種連携による円滑な退院支援、また本人さまの意向を尊重した意思決定支援により、利用者さま（患者さま）の満足度向上に努めます。

また北区居宅介護支援事業者連絡会幹事として、研修会の企画や地域課題の検討、社会資源の創出など地域のネットワーク機能やケアマネジメントの質向上に努めます。

2020年利用者状況



愛生訪問看護ステーション平安通

管理者 山田 真行

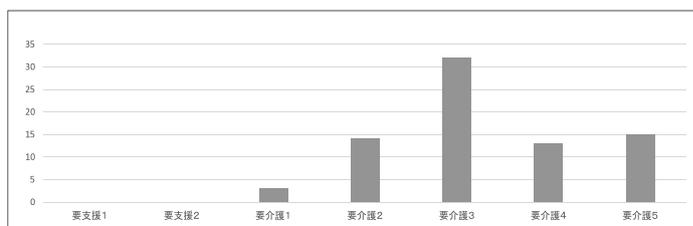
➤ 特徴

2020年4月に開設した「こもれびの家平安通」と「愛生複合型サービスセンター平安通」の同一敷地内に併設された訪問看護ステーションです。両施設の利用者さまの健康管理を併設というメリットを活かして迅速な対応を可能としています。また利用者さまの自宅にも訪問し、地域で安心して生活できるようお手伝いをさせていただきます。病院やケアマネージャーなど関連職種との連携を重視しており、特に愛生会内の連携がスムーズに行えます。

➤ 今後の目標

前年度は「こもれびの家平安通」と「愛生複合型サービスセンター平安通」の利用者さまを中心にサービス提供をしていましたが、今年度からは訪問看護ステーションの特性を活かし前述の施設以外でも、ご自宅で療養されている方への訪問も積極的に行っていきます。施設から在宅での療養生活をトータルでサポートさせて頂き、利用者さまやそのご家族に信頼され、地域のみなさまにも信頼される訪問看護ステーションを目指します。

➤ 2020年利用者状況



愛生複合型サービスセンター平安通

管理者 黒田 一成

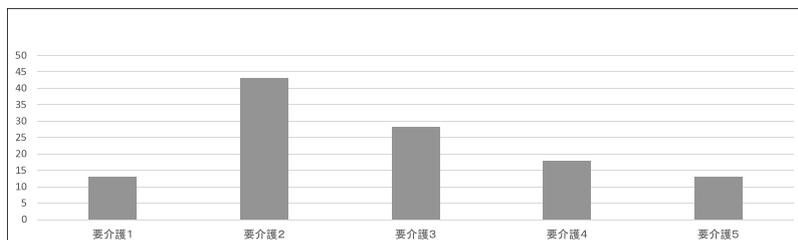
➤ 特徴

在宅で過ごされているようなホットする安心感と利用者さま中心の温かい看護・介護を提供できるよう、看護職・介護職・ケアマネージャー・リハビリスタッフがチームを組み、通いを中心として泊まり・訪問サービスを365日包括的に提供しています。医療依存度の高い方に対応できるように愛生訪問看護ステーション平安通と連携し、医療処置が必要な方にも対応可能です。また理学療法士が2名在籍しており、個別リハビリを提供しています。

➤ 今後の目標

介護職への喀痰吸引研修を進めており、介護士の技術向上により、医療依存度の高い中～重度の利用者さまの受け入れが可能となるように取り組んでいきます。また法人内外の医療機関やケアマネージャーと連携し、スムーズな受け入れが可能となるようにし、紹介件数・成約率向上に努めます。また定期的な面談やアンケートを実施する事で職員の離職率低下と記録のICT化等で業務の効率化を図り、時間外勤務の削減に努めます。

➤ 2020年利用者状況



こもれびの家平安通

管理者 船場 良介

➤ 特徴

住宅型有料老人ホームとは 24 時間職員が常駐しており、食事の提供や見守りサービスを受けられるほか、手すりやスロープの設置など高齢者が安心して生活できる環境が整えられた施設です。また、必要に応じてヘルパーや訪問看護などの介護保険サービスを受けられ、要介護度が高い方でも長期的な利用が可能です。

➤ 今後の目標

2020 年 4 月の開設から 1 年が経過し入居人数は 19 部屋満室となりました。今後はレクリエーションやイベントの充実を図り、入居者さまに楽しんでいただけるように企画していきます。また、地域のケアマネジャーや併設の事業所と連携し、安心安全のサービス提供により地域医療・介護に貢献していきます。

➤ 2020年利用者状況

